

KANSAI Univ. News

関西大学通信

2009年
12月1日
第369号

The first issue was published on June 19, 1969 and renewed in October 1, 2009.

■特集

アメフトを知ろう!

これを読めば甲子園ボウルがもっと楽しくなる

■Student Support

エクステンション・リードセンターを活用しよう!

■Kaisers 飛躍

- 弓道部女子
- レスリング部
- 柔道部

■「考動」するゼミ・サークル

- 経済学部 中川竜一教授
- アカペラサークルBrooklyn304

■学生広報スタッフ企画

- 『K.U.ROCK FEVER 7th』『KANDAI DANCE FES.09』
- 優勝者独占インタビュー



THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

29年ぶりに立命館大学に勝利し、リーグ優勝への喜びを表現するアメリカンフットボール部の部員たち
(関連記事2・4・5面参照)

チュラロンコン大学との学術協力および交流に関する協定を締結

本学とタイ・チュラロンコン大学は、2007年3月に理工系の大学院生交換協定を締結しているが、このたび、大学全体での学術協力および国際交流計画に基づき相互協力をを行うことで合意し、10月5日に千里山キャンパスにて調印式を行った。

今後は、それぞれの大学における研究・教育の推進および研究者・学生、学術情報・資料の交換などを行う。チュラロンコン大学は、1917年に創立されたタイ最古の大学である。



東京センターで『地方の時代』映像祭連続セミナーを開催

東京センターで、『地方の時代』映像祭連続セミナーが全3回に分けて開催され、11月7日に「権力と向き合う地域メディア」と題して第1回目のセミナーが行われた。

当日は、朝日新聞水戸総局長の依光隆明氏、東海テレビ放送報道スポーツ局専門局長の阿武野勝彦氏、本学客員教授で『地方の時代』映像祭・プロデューサーの市村元氏および黒田勇副学長がパネルディスカッションを行った。

全3回のセミナーを通じて、地方のこころ、地方のこえを伝える優れたドキュメンタリー作品を顕彰した。

また、11月21日には、千里山キャンパスにおいて、贈賞式、グランプリ作品の上映ならびにシンポジウムが開催された。グランプリ作品は「SBSスペシャル 日本兵サイタイゾーの真実～写真の裏に残した言葉～」に決まり、11月27日まで千里山キャンパスにおいて参加作品の上映や、ワークショップが開催された。



連続セミナーの様子



贈賞式の様子

社会安全学部・大学院社会安全研究科開設記念シンポジウムを開催

本学は文部科学省に「社会安全学部 安全マネジメント学科」と「大学院社会安全研究科防災・減災専攻」の設置認可申請を行い、10月30日付で認可書を受領した。

今回、社会安全学部と大学院社会安全研究科が開設記念シンポジウムを以下のとおり開催する。

当日は、シンポジウム終了後、各種入学試験についての個別相談も実施する。

日 時：12月5日(土) 13:30～16:00
場 所：千里山キャンパス第1学舎1号館千里ホール
テーマ：「時間と安全～安全・安心を時間の視角から科学する」
定 員：1,000人
※参加費は無料であるが、事前の申込が必要。申込方法やプログラムなどの詳細は本学ウェブサイトを確認のこと。

岩田稔選手との交流会を開催

このたび、学生センター所管のピア・サポート事業として、岩田稔選手との交流会を12月9日に開催する。交流会では、岩田選手とのゲームや質疑応答などを通じて、岩田選手の選手生活やこれまでの野球選手として歩んできたなかで得たことなど、今後の大学生活に生かしてもらいたいイベントを予定している。

日 時：12月9日(水) 15:00～16:00
場 所：千里山キャンパスメディアパーク凜風館4階ミーティングルーム
テーマ：「岩田稔選手と交流しよう！」
内 容：クイズ形式のゲーム、質疑応答など
※予定は変更される場合があります。

国際協力セミナーで客員教授の井村雅代氏が講演

11月21日、千里山キャンパスにおいて、第2回国際協力セミナー「国際舞台で勝つ条件～キャンパスで何を学んでおくべきか～」を開催した。

講師の井村雅代氏(本学客員教授、井村シンクロクラブ代表)は北京五輪の中国代表コーチとしてシンクロチームを初のメダル獲得に導くなど、国内だけでなく海外においても輝かしい指導実績を有している。

今回のセミナーでは、シンクロ選手が何を学んでいるかを紹介して、大学生活で培う人間力と、キャンパス生活で何を学ぶかについて語られ、会場を埋め尽くした聴講者は熱心に聞き入っていた。

アメリカンフットボール部が61年ぶりにリーグ優勝を決める

11月21日、アメリカンフットボール部が関西学生リーグ最終戦で甲南大学と対戦し、44対7で勝利した。この結果、本学は7戦全勝となりリーグ完全優勝を飾った。本学が関西学生リーグ優勝を果たしたのは、実に61年ぶりのことである。

今後、11月29日の西日本代表校決定戦(名城大学戦)を経て、12月13日(日)に阪神甲子園球場で行われる「パナソニック電工杯第64回毎日甲子園ボウル」で東日本代表校と対戦する。





強豪ひしめく関西リーグの頂点に立った弓道部女子 (写真提供: 関大スポーツ編集局)

■弓道部女子

19年ぶりにリーグ頂点! 全日本学生女子王座決定戦でも初優勝!

今年度、全日本インカレ(8月)覇者・立命大との一戦。主将の湯谷知美さん(社会学部3年次生)は「立命に勝てば優勝できると思っていた」と語った。その思いが実り、9本の差をつけて見事に勝利。貴重な金星を挙げ、最終節へ弾みをつけた。そして迎えた最終節対近畿大学戦。

一進一退の攻防が繰り広げられる。関大は3立ち目に15中を叩き出したものの、80射を終え61中。近大は3本を外し、4人が続けた中。そして残る矢は1本。最後の矢がほんの数センチ、的を外れた瞬間、関大のリーグ優勝が決定した。「すごく嬉しい。ずっとずっと勝ちたくて、いろ

ろ考えて追い詰めて頑張ってきたので」と出口真理子さん(商学部4年次生)は喜びを語った。涙を流し、喜びを分かち合う部員たち。選手たちが感謝の言葉を贈ると、坂根師範は「何も言わんでいい、結果で十分や」と涙を抑えながらその活躍を称えた。選手だけでなくチームが一丸

となつてつかんだ勝利。「最後まで諦めない方が勝つ」その気持ちがチームを偉業達成へ導く原動力となった。その原動力もあって、弓道部女子は、11月23日に行われた全日本学生女子王座決定戦で立命館大学を下し、初優勝を飾った。(取材編集: 関大スポーツ編集局)

■レスリング部

増谷兄弟が西日本制覇

フリースタイル66kg級・増谷一樹さん(文学部3年次生)が西日本制覇を成し遂げた。決勝、第1P(ピリオド)は両者無得点のまま延長戦へ。攻撃権を獲得した増谷さんが確実にポイントを奪い、勝利。続く第2P、序盤にバックを取られ1点を献上してしまう。しかし、残り30秒で1点を奪取。そのまま「後者ポイント」を堅守しようとするが、終了間際に増谷さんに2点、相手に1点が入り、3-2となる。逆転を狙って相手は果敢にタックルを仕掛けてくるが、増谷さんがリードを守りきり試合終了。1点を争う接戦を制し、見事西日本王者の座を手にした。「対戦組み合わせが厳しい中で、価値ある優勝になった」と喜びを語った。

一方、グレコローマンスタイルでは、増谷一樹さんの弟の増谷剛

さん(文学部1年次生)が初出場ながら60kg級で優勝を果たす。試合後、「兄からは常にセコンドで的確なアドバイスをもらった。1年次生で優勝できるとしていなかった」と語った。兄弟で西日本を制覇する偉業を成し遂げた。さらに、両スタイルで7名の入賞者を輩出。関大レスリングの実力をまざまざと見せつける結果となった。(取材編集: 関大スポーツ編集局)



兄弟で優勝を果たした増谷剛さん(左)、増谷一樹さん(右)

■柔道部

全日個人73kg級 渡邊聖貴さんが第3位

10月11日に日本武道館で行われた、第28回全日本学生体重別選手権大会で堂々の3位に輝いた渡邊聖貴さん(総合情報学部3年次生)。昨年は怪我に苦しみ、出場さえかなわなかった。雪辱を果たすべく迎えた今年。関西選手権で見事準優勝を収め、2年ぶりに全国大会への切符を手にした。

準決勝で対するは、昨年度王者・齊藤(天理大)。苦手とする守りの柔道を展開する相手に、なかなか攻め切れない。終盤、連戦の疲れから渡邊さんの足が止まり始める。互いに技が決まらないまま、ゴールデンスコアへ。それでも決着はつかず、勝負の行方は判定へと持ち越された。挙げたのは相手を示す赤旗が3本。準決勝敗退が決まった瞬間だった。「最後まで攻められていた

ら」と悔しさをにじませる。

勝負所でのスタミナ不足が響いた今大会。目下の課題は体力面の強化。「足技だけのつなぎの柔道では全国で通用しなかった」と未熟さを痛感。今後は多彩な技を織り交ぜ、自分のスタイルに磨きをかけていかなければならない。一方で、実力者たちとの対戦は確かな自身に繋がった。



全国の舞台で躍動した渡邊聖貴さん (写真提供: 関大スポーツ編集局)

■アメリカンフットボールとはどんな競技？

アメリカンフットボールを、一言であらわせば「陣取り合戦」です。両チームは攻撃チームと守備チームに分かれ、攻撃側はボールを敵陣のできるだけ奥深くまで、つまりゴールまで到達させようと体力と知力の限りを尽くします。

アメフトを知ろう！

🔍ゲームの進行を整理してみましょう。

- 1 装具をつけた選手が11人ずつの攻撃と守備に分かれて、
- 2 フィールド上で円陣を組んで作戦会議(=ハドル)を行いながら
- 3 攻撃は守備の動きを体当たりで妨害(=ブロック)しながらボールを持って走ったり、パスしたりして、
- 4 連続した4回の攻撃でボールを10ヤード以上前進させて(10ヤード以上前進させると新たに4回の攻撃権を獲得)、
- 5 相手エンドゾーンに持ち込むか(=タッチダウン)、キックでゴールを越して(=フィールドゴール)得点して、
- 6 前・後半2つずつの節(=クォーター)における得点の大小を争う格闘チーム競技ということになります。



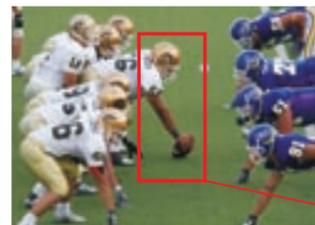
ハドル(作戦会議)をする選手たち

🔍試合観戦のためのミニ知識

試合時間
試合は、4つのクォーターで区切られます。(2クォーター終了後はハーフタイムがあります)クォーターとは15分のことです。ゲームの時間は60分ということになりますが、時計が止まったり、攻撃と守備が交替したり、ハーフタイムなどの時間を含めると、約2時間30分から3時間で運営されます。

キックオフ
ゲームの開始、後半の再開、得点の後は、自陣の30ヤード地点に置いたボールを蹴って始まります。ボールをキャッチした選手は、味方のブロックを壁にしてリターンをします。

ファースト・ダウン(第1ダウン)
攻撃チームには4回の攻撃の権利が与えられ、この間に10ヤードの前進を獲得すると新たなファースト・ダウンとなります。その最初のダウンの名称が、ファースト・ダウン。10ヤードの獲得が出来なかったときは、セカンド・ダウン、サード・ダウン、フォース・ダウンと続きます。



スナップ

攻撃を開始する手段。オフェンスラインの選手(センター)が背後にいる味方に、股間を通してボールを手渡しするか、パスする方法があります。



スナップの様相

ダウン&ディスタンス
フットボールのゲームに絶対欠かせないのが、サイドラインに沿ってボールの位置とダウンの回数を表示するダウン表示器と10ヤードを標示するチェーン。

エンドゾーン
フィールドの両端に設けられた10ヤードの地域をエンドゾーンと呼びます。

スコアボードと電光掲示
スコアボードには情報がぎっしり掲載されています。両チームの得点経過はクォーターごとに表され、現在のダウン数に第1ダウン獲得のための必須前進距離が「TO GO」で標示されます。「BALL ON」はフィールド上にあるボールの位置を示し、フィールド・クロックは残り時間をカウントダウン表示しています。



この場合、第1ダウンの攻撃でボールが自陣34ヤード上あり、ファーストダウン更新まで10ヤード残していることを示す。残り時間(0)に向かって残り時間が表示される

🔍ゲーム進行

試合時間(コイントス)

ゲームの開始は、審判の投げたコインの裏表で決めます。勝った方がキック、レシーブ、またはどちらのサイドに攻めるかを選択できます。

第1クォーター：キックオフ(15分)

陣営30ヤード地点からのキックでプレー開始。レシーブチームがキックされたボールをレシーブリターンする。リターナーがタックルされ、ボールがデッドになった地点から最初の攻撃が開始されます。

第2クォーター (15分)

ハーフタイム(15分)

第3クォーター：キックオフ(15分)

第4クォーター (15分)

試合終了

■守備チームのポジションと役割・特徴

▶ラインバッカー = LB

※守備の第2列目に位置する守備の司令塔。ランプレイの場合は主にランニングバックを追跡し、ディフェンスラインから漏れてきたランニングバックにタックルして止める役割を負い、パスプレイの場合はパスを阻止するよう守備する。(パスカバー)

■攻撃チームのポジションと役割・特徴

▶オフェンスライン = OL

※OLの5人のラインはブロック専門のスペシャリストで、ボールを持つことはできない。ランプレイにおいてはランニングバックの走路を切り開くためのブロックを行い、パスプレイにおいてはパスを投げるまでクォーターバックを保護(パス・プロテクション)する。

▶ワイドレシーバー = WR

※クォーターバックとともにパスプレイの主役となるポジション。主な役割は、クォーターバックから投げられたパスを捕球することである。



●スペシャルチームのポジションと役割・特徴

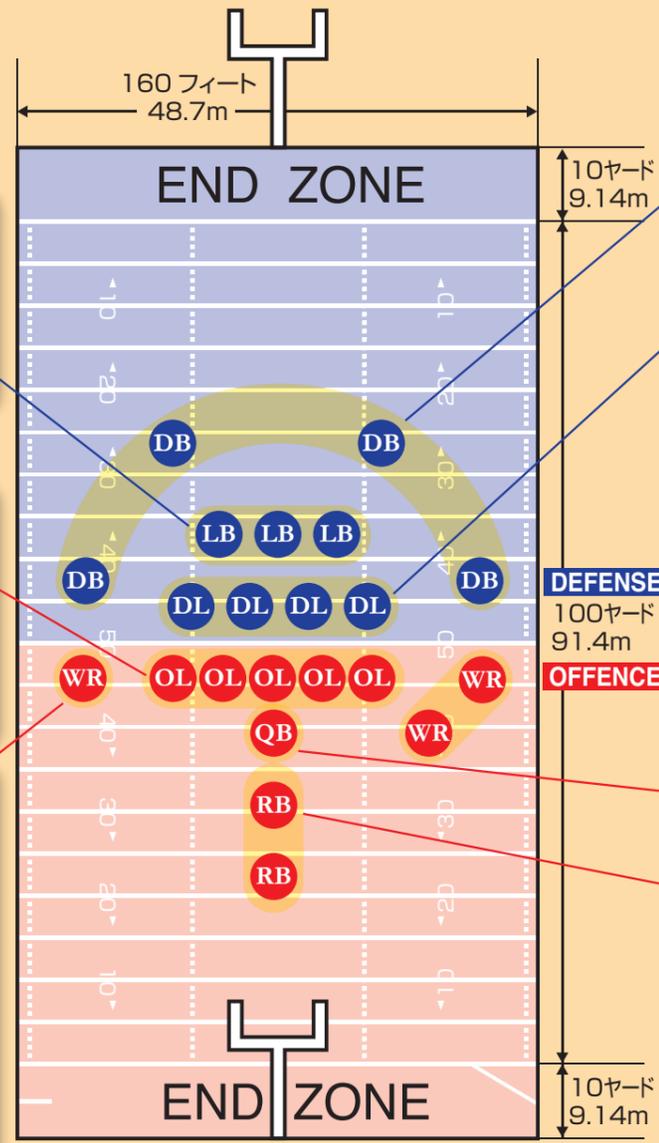
▶パンター = P

※陣地を挽回するためパントを行い、ボールを相手陣の奥深くに押し込むポジション。パンターには局面に応じて蹴り込む距離を自在に調整できる能力が求められる。

▶キッカー = K

※フィールドゴールやトライフォーポイントでキックをする選手。キックオフを担当することもある。ゴールを狙うキッカーには特にキックの距離と方向の正確さが求められる。

大学日本一を決める『パナソニック電工杯 第64回 毎日甲子園ボウル』がいよいよ12月13日(日)に阪神甲子園球場(13時10分開場予定)にて行われる。今回は、初めてアメフトを観戦する人にも試合のポイントやルールがわかるように、アメフトの醍醐味や試合のポイントを徹底紹介。これを持ってみんなで応援しよう！



※ポジション位置は作戦で変わることがあります。

▶ディフェンスバック = DB

※守備の第3列目に位置し、幅広く開いて攻撃を守備する。主にパス攻撃を守るために配置されるが、ラン攻撃を止めるためにも積極的に守備に参加する。相手の攻撃を防ぐ最後の砦となる。

▶ディフェンスライン = DL

※守備の最前列に位置し、ラン攻撃に対する守備が主な役割。パス攻撃の時にはQBにプレッシャーをかけてタイミングを狂わすように襲い掛かる。

▶クォーターバック = QB

※攻撃の司令塔。攻撃の基点になるポジション。スナップを受けた後、ランプレイであればランニングバックにボールを渡すか自らが走り、パスプレイであれば時間を稼いでタイミングを見計らってパスを投げる。



▶ランニングバック = RB

※ランプレイの主役。ボールを持って走るのが主な役割である。



🔍得点方法

【タッチダウン：TD】

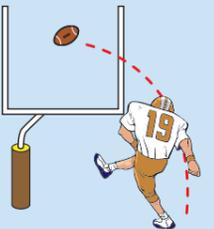
タッチダウンを達成すると6点の獲得。タッチダウンは接地・着陸の意です。ボールを持ったままエンドゾーンに駆け込むか、エンドゾーン内でパス・キャッチすればタッチダウンで6点を獲得。守備がインターセプトや、ファンブル・ボールのリターン、相手のエンドゾーンに駆け込んだり、エンドゾーン内でのファンブル・リカバーなどでもタッチダウンとなる。タッチダウン後のボーナスポイントのトライで、エンドゾーン手前3ヤードから、フィールドゴール同様に蹴り込むと1点。ランやパスでエンドゾーンに持ち込めば2点が入ります。



END ZONE (黄色のゾーン) GOAL LINE

【フィールド・ゴール：FG】

地面にセットしたボールを相手エンドゾーンの奥に立つゴールポストの間に蹴りこむとフィールドゴールの3点が入ります。



🔍ここに注目！

パス・プレー

フォワード・パスは1回のプレー中に1回だけ許されている攻撃方法です。QBが後方にすっと下がってパスを投げよう構えたら、フィールドを走るレシーバーたちに目を移しましょう。

ラン・プレー

QBがバックにボールを手渡ししたり、ピッチ(後ろパス)したりして守備の最前線突破します。ラインの守備に対する体当たり(=ブロック)が無ければ前進は生まれません。

プレー・コール

アメリカンフットボールでは、次にどのようなプレーを行うかをフィールド上で円陣を組んで作戦会議(=ハドル)し、決定します。攻撃・守備の選手は、サイドラインのコーチから、それらのサインを聞き、次のプレーに備えます。それぞれのチームがその試合に対し、どのような作戦を準備して試合に挑むかもまた、アメリカンフットボールの面白さでもあります。また、プレー終了から次のプレーを始めるまでは、40秒以内に開始しなければ、反則となります。

タイム・アウト

両チームでそれぞれ、前半・後半で3回ずつタイムアウトを取ることが可能です。(1回につき90秒)タイムアウトがかかると時計を止めることができます。プレーが始まる前に、一旦止めて再度作戦を変更したい時や、相手攻撃のリズムをとめるなど、お互いのチームはさまざまな方法で試合の流れをコントロールしようとしています。

フォース・ダウン(第4ダウン)

3回の攻撃で10ヤードを獲得できずに迎えたフォース・ダウン。ここでゲーム展開の明暗を握る3つの選択をします。

—— 選択1：パント ——

攻撃の権利を放棄して、相手陣にボールを大きく蹴りこんで陣地を挽回するのがパント攻撃です。ボールが蹴られた瞬間に攻撃と守備が一転します。

—— 選択2：キャンブル ——

パントせずにファースト・ダウン更新を狙うことです。失敗すればその地点で攻守交替。苦しい立場に追い込まれることを覚悟した賭け(キャンブル)です。通常の攻撃体形からプレーする場合と、パントを蹴ると見せかけて守備の意表を突いてランカパスを行う場合の2通りがあります。

—— 選択3：フィールドゴール ——

地面にセットしたボールを相手エンドゾーンの奥に立つゴールポストの間に蹴り込むと3点が入ります。相手ゴールから35ヤード以内ならチャンス到来です。

反則とペナルティーについて

アメリカンフットボールは、陣取り合戦です。試合中、反則が発生した時には、反則したチームが不利になるようボール位置を下げられます。反則をするとゴールが遠のくことになってしまいます。この時、反則の発生を知らせるため、審判はイエローフラッグと呼ばれる黄色いハンカチのようなフラッグをフィールドに投げます。





ゼミでのプレゼンの様子(左端が中川教授)



真剣に説明を聞くゼミ生

活発な議論 深まる金融知識

濱田 昂志さん(経済学部3年次生)
崎田 和之さん(経済学部3年次生)

Q.ゼミの研究テーマは？

A. 私たち中川ゼミでは、ファイナンス、すなわち金融に焦点を当て研究を進めています。

ます。後期は研究を進めると共に、4つの大会に出場して研究結果を発表します。

Q.具体的な研究内容を教えてください。

A. 金融は、経済や生活にどのような影響を及ぼすのかということについて、国家規模などのマクロ的な視点や、個人の貯蓄や投資といったミクロ的な視点などさまざまな視点から考察しています。株式や銀行破綻など、同じ分野に興味を持った人達で4人1組の班を作り、その班ごとに違う研究内容を決めて研究をしています。

Q.ゼミの雰囲気を語るとすれば、どんな雰囲気ですか？

A. 少人数の班を組んで研究を行っているので、特に班の中では活発に議論を行っています。行き詰ったときには、先生や他の班の方に助言をもらうなど一丸となって頑張っています。

先生は助言程度で、学生主体で研究を進めています。3年次の前期に金融の基礎を学び、夏休みからそれぞれのテーマに沿った研究を始め

Q.先生を自慢するとしたら？

A. 時には厳しいところもありますが、研究についての確かな助言をしていただけるなど、より良い論文完成のためには力を惜みなく注いでくれます。

考動するクラブ・サークル

●アカペラサークルBrooklyn304

日野 弘一さん(環境都市工学部3年次生)

☆アカペラサークルBrooklyn304を紹介します☆

Q.主な活動内容について教えてください。

A. ハモネプなどでお馴染みのアカペラをします。6人グループで歌い、人の声で楽器の音も再現します。練習は主に凧風館の裏で行っていて、ストリートライブや学園祭などで発表しています。

プが出演するので、クオリティーの高い演奏が聴けます。出演しないサークル員もスタッフとして活躍するので、サークル員全員でよりよいライブを作り上げます。

A. アカペラを演奏するとき、マイクやスピーカーなどの機材を用いるのですが、その置き場所に苦勞しています。現在は、下宿をしているサークル員の家に置いているので、何らかの解決法を模索しています。

Q.クラブ・サークルで苦勞していることは何ですか？

Q.このサークルの雰囲気はどんな感じですか？

A. 学年次や男女を問わず仲がよいので、家族のように温かい雰囲気です。卒業生もよく遊びにきてくれるほど居心地がよいみたいです。また、アカペラの行事のほかにも、動物園に行ったり、スノボ合宿に行ったりして楽しんでいます。

Q.直近の目標はありますか？

A. 12月13日(日)にウィンターライブがあるので、それに向けて練習しています。このライブは、サークルの中で選考された6つのグルー



アカペラライブの様子



アカペラサークルBrooklyn304のサークル員

エクステンション・リードセンターでは、多彩な講座を開講し、みなさんの資格・国家試験の合格をサポートしています。
平成22年度開講講座の申込受付は、1月8日(金)より開始します！

※各講座・コースの詳細は、『講座案内2010』(パンフレット)をご覧ください。

平成22年度前期開講講座の概要

▶1月8日(金) 12:10～ 受付開始

講座・コース名			開講期間
英語講座	TOEIC®テスト対策コース	前期 650点目標クラス	5月17日～8月9日
公務員講座	国Ⅱ・地方上級対策講座	主要5科目コース	4月17日～平成23年1月7日
		経済原論	4月19日～8月30日
	技術系対策講座		4月17日～平成23年3月25日
	土木職対策講座		4月17日～平成23年3月25日
司法講座	国Ⅰ対策講座	法律職・経済職・行政職	4月23日～平成23年5月20日
		Aコース(憲・民・刑)	4月26日～平成23年3月24日
		Aコース答練	5月26日～平成23年4月13日
	法律科目基礎講座	Bコース(商・両訴・行政)	5月7日～12月14日
		Bコース答練	5月15日～平成23年3月26日
	法科大学院入試対策講座	適性試験クイックチャージコース	4月6日～5月1日
司法書士講座			4月22日～平成23年4月21日
弁理士講座			5月10日～12月13日
会計職講座群	簿記検定講座	3級対策コース1組	4月19日～6月12日
	マスコミ試験対策講座		5月21日～平成23年2月18日
宅地建物取引主任者講座			4月13日～10月1日
総合旅行業務取扱管理者講座	国内・総合コース		5月20日～10月4日
	総合コース(国内科目免除者)		6月17日～8月26日 9月13日～10月4日
	通関士講座		5月11日～9月28日
ファイナンシャル・プランナー講座(AFP+2級FP技能士)			6月29日～12月17日
色彩検定講座		1・2・3級対策コース	4月23日～12月10日
行政書士講座			4月26日～11月8日

▶4月15日(木) 12:10～ 受付開始

講座・コース名			開講期間
英語講座	TOEIC®テスト対策コース	ビギナークラス (千里山キャンパス開講)	5月17日～6月29日
		ビギナークラス (高槻ミュージアムキャンパス開講)	5月24日～7月12日
公務員講座	心理職対策講座	初級コース	5月12日～9月10日
会計職講座群	簿記検定講座	2級対策コース1組	6月24日～11月20日

【受講申込受付】

キャンパス	受付場所	取扱時間
千里山	エクステンション・リードセンター 千里山キャンパス事務室	10:30～21:00* (日・祝日および本学休業日を除く)
高槻	高槻キャンパスオフィス (総合情報学部生に限る)	10:00～16:00 (土・日・祝日および本学休業日を除く)

★受付開始日(1月8日(金)、4月15日(木))の受付開始時間は12:10～となります。
1月16日(土)～1月30日(土)の受付時間は18:00までとなります。

『資格なんでも相談フェア』の案内

12月18日(金)、千里山キャンパス第3学舎(社会学部)において、各種資格・国家試験等について相談できる『資格なんでも相談フェア』を実施します。

会場では、講座提携先のライセンス・コーディネーターに資格・試験の相談ができる「資格相談ブース」を設けます。また、これから公務員をめざす方を対象に「公務員ガイダンス」を実施します。

予約不要、参加費無料、入退場自由、学部・年次は不問です。この機会にぜひ足を運んでください。

12月18日(金)

◆資格相談ブース

時間:14:00～16:30
場所:千里山キャンパス第3学舎(社会学部)3号館

◆公務員ガイダンス

時間:①13:00～14:30
②15:30～17:00
※①と②は同一内容です。
場所:千里山キャンパス第3学舎(社会学部)D302教室

エクステンション・リードセンター職員からのメッセージ

昨秋から厳しい採用状況が続いています。この難しい関門を突破するには「なりたい自分を見つける」ことが大切です。その一つの手段として優れたスキルや知識を身につけることも必要です。資格は大きな武器といえます。

エクステンション・リードセンターでは皆さんの「なりたい自分」を実現させるために公務員の対策講座や各種資格試験の対策講座を開講しています。

当センターの講座は千里山キャンパスの第3学舎で行われており、とても通しやすい環境にあります。さらに、一般の専門学校に比べ低価格という点も、学生の助けになると思います。

当センター事務室では私を含め、職員がいつでも質問や相談に対応しています。少しでも興味がありましたら、気軽にお立ち寄りください。リードセンターはきっと皆さんの力になると思います。



エクステンション・リードセンター事務室
浅井 健志さん

受講生の声

入学してすぐに公認会計士という職業についての話を聞く機会があり、給与や勤務形態がとても魅力的だったので公認会計士をめざすことを決めました。

当初、私は簿記についてまったく知らないところから公認会計士をめざしました。そこで、簿記3級から公認会計士まで段階的に学習ができるリードセンターの講座を受講することにしました。

リードセンターの一番の利点は、大学のキャンパス内にあることだと思います。正課の授業が直前まであってもリードセンターの講座の開始時間には間に合いますし、学外の専門予備校へ通うための定期券などを別途購入しなくてもよいので出費を抑えることができます。



公認会計士入門講座受講
新谷 翔吾さん(商学部3年次生)

そして、万が一出席ができない講座があってもフォロービデオシステムがあるので、別の日に補習も可能です。講師の方の教え方も非常にうまく、独学で進めるのとは比較にならないほど、理解が進みます。

国家試験や資格に挑戦しようと考えている方にとって、リードセンターはきっと心強い味方になると思います。

K.U. ROCK FEVER 7th KANDAI DANCE FES.09

優勝者独占インタビュー

11月1日から4日までの4日間、今年も秋の一大イベントである『第32回関西大学統一学園祭』が行われた。その中の企画『K.U. ROCK FEVER 7th』と『KANDAI DANCE FES.09』で選ばれたNo.1ダンサーとミュージシャンに学生広報スタッフが独占インタビューを敢行！優勝発表直後の彼らの生の声をお届けする。



『K.U. ROCK FEVER 7th』は、今年で開催7回目になる関大音楽No.1決定戦。数多くの強豪を抑え勝利を収めたのは、新進気鋭のバンド『ミラーマン』であった。



》優勝者に直撃インタビュー！

山本剛義さん (Vo)

—今回配信される『季節、都会、世界』はどんな曲ですか？

「バンドで長い間演奏している曲で、ドラムがリズム遊びをしているところに他の楽器を合わせて作りました。歌詞は、自分の好きな言葉の響きやフレーズを組み合わせてみました。意味や捉え方を固定しないで、“なんかいいな”と思ってもらえる曲を作るよう心掛けています」

—今後の目標は？

「今のメンバーで長く楽しく続けたい！」

KANDAI DANCE FES.09

『KANDAI DANCE FES.09』は、過去の来場者アンケートの声に応え、今年誕生した企画である。会場となった千里山東体育館にはダンスファンが集まり、ダンサーたちのパフォーマンスに酔いしれた。そして栄えある初代チャンピオンに輝いたのは、ブレイクダンスを披露した『ガチチンコファイイト倶楽部』であった。



『KANDAI DANCE FES.09』の様子



■ミラーマン

2009年に結成されたロックバンドで、大阪なんばを中心に活動中。メンバーは山本剛義さん (Vo.)、中本真太郎さん (法2) (Gt.)、阪口晋作さん (法2) (Ba.)、池田英夫さん (Dr.)。独特の世界観をもった歌詞と、聞けば聞くほどくせになる曲調で観客を魅了する。今後のライブ活動などは、mixi内コミュニティ『ミラーマン(バンド)』に掲載予定。

■QRコード・曲紹介

ミラーマン『季節、都会、世界』待受&着うた 好評配信中！
(ダウンロードの際にはパケット通信料が課金されます)



優勝した『ガチチンコファイイト倶楽部』のメンバー
中野尚さん (経3)、片瀬幸典さん (シス理3)、野崎紀輝 (商3)、田近亮平さん (化生3)、佐々木敦さん (シス理2)、瀬川博義さん (シス理2)、西野真悟さん (経2)、植田春樹さん (政策2)、吉村純平さん (社2)

》優勝者に直撃インタビュー！

リーダー 中野尚さん (経済学部3年次生)

—今の気持ちは？

「信じられない気持ちです。今年、あるイベントで披露しようと考えていたのですが、メンバーの一人が新型インフルエンザで出られなくなってしまったので、この大会で優勝して後夜祭で踊ろう！とみんなで一丸になって臨みました」

—チームの雰囲気は？

「熱いメンバーが多いですね。騒ぎ合っているときが楽しいです」

—今後の目標は？

「学生No.1ダンスチームをめざします」

企画・編集 学生広報スタッフ (50音順) 上窪大貴 (政策3)、大塩結 (社3)、落合美規 (政策2)、菅原直亮 (情2)、高野公美子 (文4)、野口美保 (社2)、平岡菜穂 (情4)

KUカレンダー 12/01-15

日程	イベント・行事名	主対象	問い合わせ先
1日(火)	経済学部国際化プログラム講演会	学生・教職員・一般	第2学舎オフィス
	商学部学術講演会	学生・教職員・一般	第2学舎オフィス
	第4回公開セミナー	学生・教職員・一般	経済・政治研究所
2日(水)	ノートテイク養成講座	学生・教職員・一般	ボランティアセンター事務局
	ベトナム人記者との市民交流会	学生・教職員・一般	第3学舎オフィス
	第5回公開セミナー	学生・教職員・一般	経済・政治研究所
3日(木)	救急救命講演会	学生	学生生活課
	第3回関大連携による技術セミナー (東京)	一般	産学官連携センター
	理工学研究科客員教授講演会	学生・教職員・一般	第4学舎オフィス
4日(金)	文学部身体運動文化専修・体育学教室公開授業	学生・一般	文学部身体運動文化専修・体育学教室
	第40回公開講座	学生・教職員・一般	法学研究所
5日(土)	社会安全学部・大学院社会安全研究科 開設記念シンポジウム	学生・教職員・一般	朝日新聞社広告局
	3研究所合同シンポジウム	学生・教職員・一般	研究所事務局
	臨床心理専門職大学院客員教授講演会	学生・教職員・一般	専門職大学院事務グループ
8日(火)	なにわ・大阪文化遺産学研究センター企画展 (～19日)	学生・教職員・一般	なにわ・大阪文化遺産学研究センター
	第2回三大学連携記念公開講座	学生・一般	地域連携センター
9日(水)	ピア・サポート事業	学生	学生生活課・スポーツ振興課
	KU ウェンズデー	学生	学生生活課
10日(木)	ボランティア情報公開～気軽にボランティアしてみませんか？～ (～10日)	学生	ボランティアセンター事務局
	文学部身体運動文化専修・体育学教室公開授業	学生・一般	文学部身体運動文化専修・体育学教室
11日(金)	第184回産業セミナー (りそな銀行大阪本社)	学生・教職員・一般	経済・政治研究所
12日(土)	第3回 国際協力セミナー	学生・教職員・一般	国際部
	第2回 次世代国際学術フォーラム (～13日)	学生・教職員・一般	グローバルCOE文化交渉学教育研究拠点 (ICIS)
13日(日)	第35回飛鳥史学文学講座	学生・一般	教育後援会
14日(月)	アイスアリーナ学生滑走デー	学生	アイスアリーナ事務局／高槻キャンパス事務チーム
	アフリカ知的財産権セミナー	学生・教職員・一般	第1学舎オフィス
15日(火)	秋季人権啓発行事	学生・教職員・一般	学長課

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。

『関西大学通信』の紙面内容および構成について、アンケートを実施します。詳細については、インフォメーションシステムの「申請・アンケート」画面より確認・入力してください。今後の『関西大学通信』に反映させていく予定です。ご協力よろしくお願いします。